

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

[！操作ボタン](#)

講義科目名称：日本美術史概説B

授業コード：54030

英文科目名称：---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日・時限			
後期：金曜4限			
配当学科・学年			
文財3、歴史2			
担当教員			
田中 健一			

授業テーマ	日本美術史（中世～近代）の通史的な理解を得る。
講義概要	日本美術史（中世～近代）の通史的な理解を得ることを目的とし、鎌倉～近代までの日本美術史を概観する。現在に残る美術作品に触れ、親しむことを目指す。また、三年次以降に日本美術史研究を視野に入れている学生にとっては、基礎的な知識と思考方法を習得する場とも位置づけられる。
到達目標	1) 日本美術の代表的な作例について、美術史学的な議論を踏まえて説明出来るようになる。 日本美術史を学ぶ上での基礎的な文献を知る。 2) 日本美術の代表的な作例について、イメージを記憶する。
評価方法	1) レポート 40% 2) テスト 40% 3) 平常点 20% 平常点は、毎回提出のコメント（まとめや感想・疑問点）により評価する。 欠席一回で4点、遅刻一回で2点を減ずる。授業に参加しているとみなしがたい場合は欠席扱いとする。
評価基準	1) 日本美術の代表的な作例（中世～近代）について、美術史学上の言説を踏まえて論述できる。 2) 日本美術の代表的な作例（中世～近代）について、イメージをみて作品の名称・時代などの基礎情報を述べることができる。 3) 日本美術の代表的な作例（中世～近代）について、授業での議論を踏まえて自分の見解を述べることができる。
テキスト	指定しない。適宜プリントを配布する。
参考書	適宜指示する。
履修上の注意	誠実な受講態度で出席すること。
準備学習	適宜指示する。
オフィスアワー等	授業終了後に対応する。
備考・メッセージ	この授業は、日本美術史研究の基礎的な文献や、研究方法などを紹介する場を兼ねる。そのため、日本美術史での卒業論文執筆を考えているものは、受講することが望ましい。

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	田中健一	はじめに	授業の課題を説明することができる。 参考文献を検索することができる。		
2	講義	田中健一	鎌倉時代の美術	鎌倉時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
3	講義	田中健一	南北朝時代の美術	南北朝時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
4	講義	田中健一	室町時代の美術	室町時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
5	講義	田中健一	室町時代の美術	室町時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
6	講義	田中健一	桃山時代の美術	桃山時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
7	講義	田中健一	桃山時代の美術	桃山時代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
8	講義・演習	田中健一	まとめ（1）	鎌倉～桃山までの美術の流れと特徴を作品に即して説明することができる。		
9	講義	田中健一	江戸時代前期の美術	江戸時代前期の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		

1 0	講義	田中健一	江戸時代中期の美術	江戸時代中期の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
1 1	講義	田中健一	江戸時代中期の美術	江戸時代中期の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
1 2	講義	田中健一	江戸時代後期の美術	江戸時代後期の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
1 3	講義	田中健一	近代の美術	近代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
1 4	講義	田中健一	近代の美術	近代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		
1 5	講義・演習	田中健一	まとめ	近世～近代の美術の流れと特徴を、作品に即して説明することができる。		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義・演習	教室	1	パワーポイント・視聴覚教材を用います。随時、資料を配布します。	90分×15

閉じる